

米軍池子住宅 追加妥当性ない

横浜市に
白井市議 撤回含め見直せ

日本共産党横浜市議

団の白井正子市議は9日、市議会基地対策特別委員会で、米海軍池子住宅地区（横浜市金沢区、逗子市）の横浜市域に、385戸の米軍家族住宅を追加建設する基本配置計画案について、白紙撤回も含めた見直しの必要性を

訴えました。

計画案は、米軍根岸住宅地区（横浜市）の移設分として住宅などを建設するとの日米合意に基づき、防衛省南関東防衛局が市に提示しているものです。

白井市議は、横浜・

逗子の両市域の米軍施設に居住する在日米軍

人・軍属・家族の人数が、東日本大震災後の

3月31日時点では前年度と比べて大幅に減少していることを示し、

新たに住宅を建設する正当性や妥当性がない

と指摘。「(建設は)基地固定化につながり、

米軍基地全面返還の市是にも相反する」と批判しました。

判しました。

市の三好誠人基地担当理事は、居住者数の減少は計画とは関係な



ようやく梅の花が 東京・日野

く、戸数は日米間で合数字だ」と答えました。